

感 染 症 週 報

島しょ保健所八丈出張所管内感染症発生動向調査

管内 第35週

(8月26日 ~ 9月1日)

東京都感染症週報 より抜粋

第34週

(8月19日 ~ 8月25日)

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/>



東京都島しょ保健所八丈出張所

〒100-1511

東京都八丈島八丈町三根1950番地2

TEL : 04996 - 2 - 1291

FAX : 04996 - 2 - 0632

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/hachijou/index.html>

感 染 症 週 報

八丈出張所管内の感染症流行情報

(八丈町・青ヶ島村)

第35週(8/26～9/1)八丈出張所管内 ヘルパンギーナ 1件

ヘルパンギーナ・手足口病にご注意ください！

八丈出張所管内では35週は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の報告はありませんでした。東京都全体では新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数が第34週(8/19～8/25)で4.79人(前週3.63人)と増加がみられ依然注意が必要です。八丈出張所管内で35週にヘルパンギーナの報告が1件ありました。東京都全体では手足口病の定点当たりの報告数は第34週で4.55人(前週4.31人)ですが、依然警報レベルが続いています。

ひとくち感染症情報「ヘルパンギーナ・手足口病」

ヘルパンギーナ・手足口病は、例年5歳くらいまでの乳幼児を中心に夏に流行する感染症です。今シーズン東京都では、両疾患ともに5月より報告数が増加し始め、7月をピークに、8月は減少傾向が見られてきましたが、手足口病に関しては依然警報レベルが続いています。ヘルパンギーナ・手足口病は有効なワクチンがないため、日頃からの手洗いなどの感染予防が重要となります。家庭での手洗いの習慣づけや、保育施設や幼稚園などでの感染予防を心がけてください。

ヘルパンギーナ・手足口病(5類感染症・小児科定点)の違い

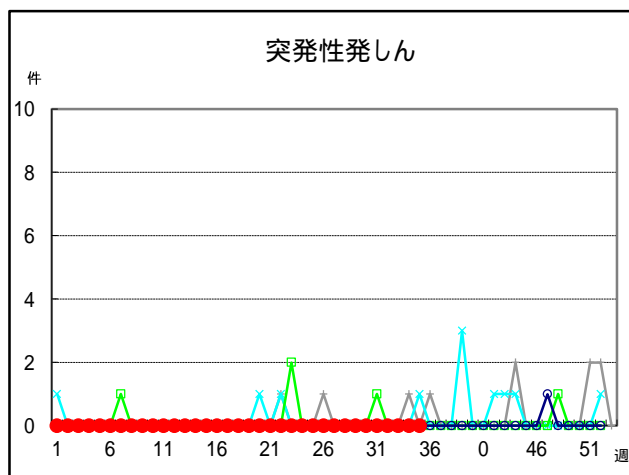
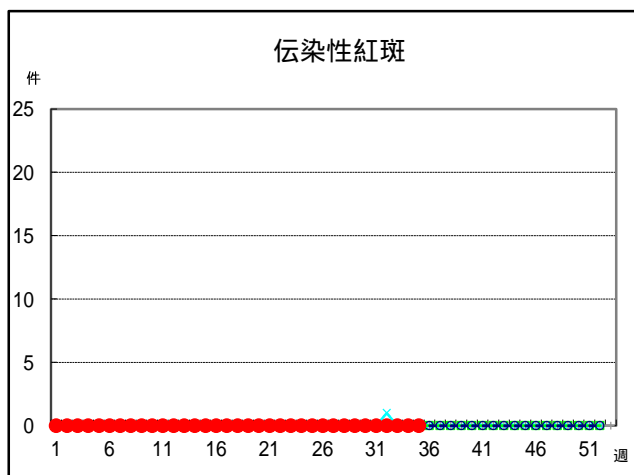
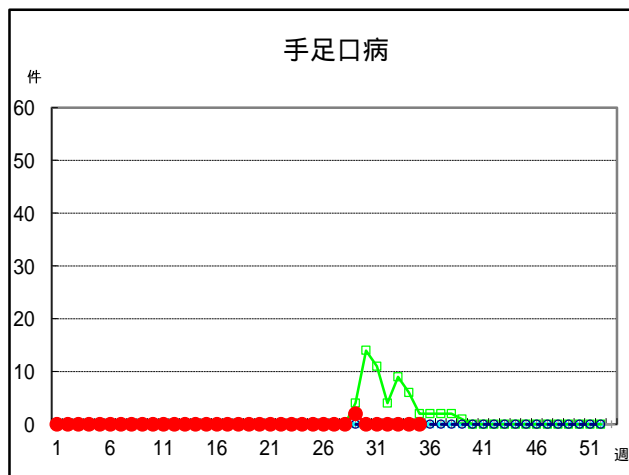
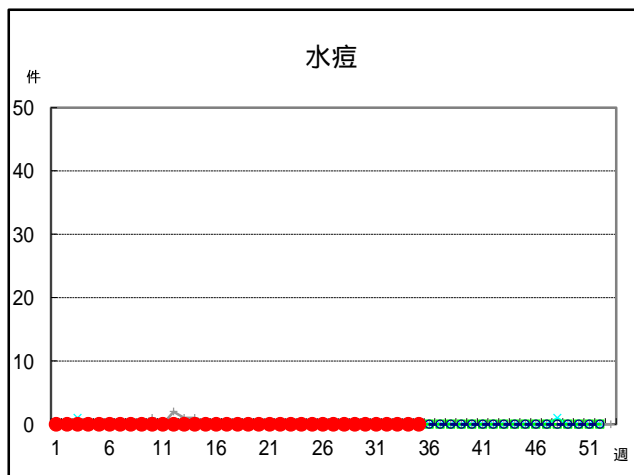
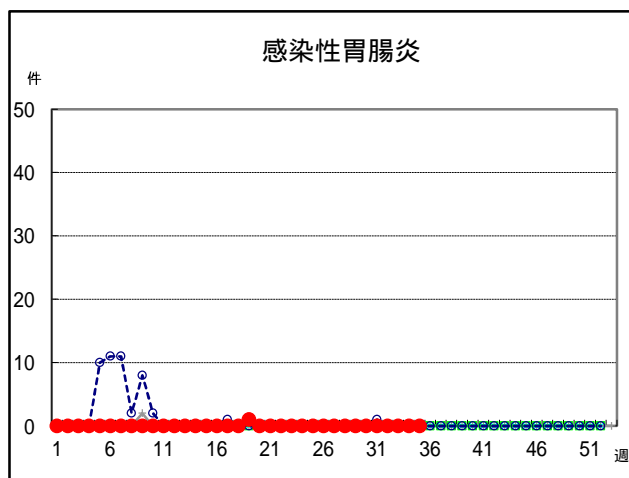
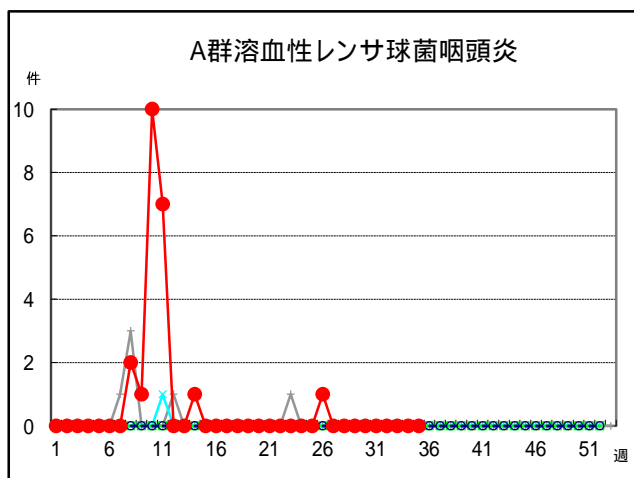
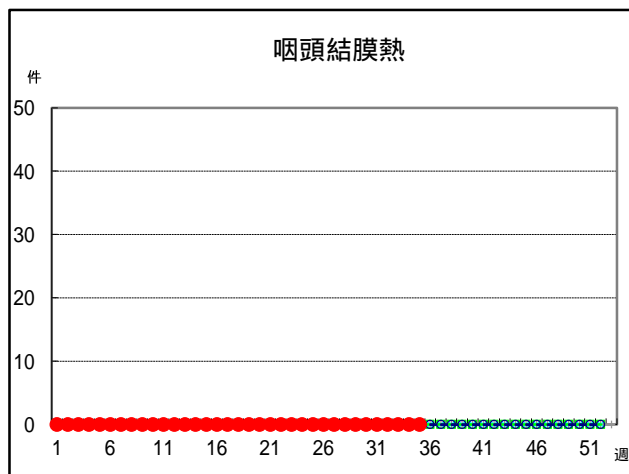
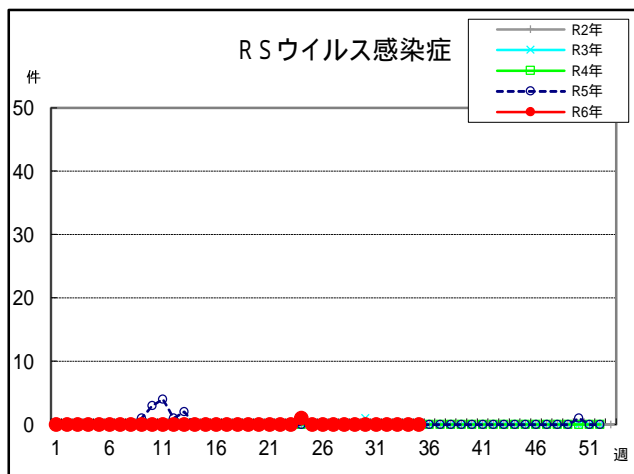
	ヘルパンギーナ	手足口病
主な原因ウイルス	コクサッキーA群ウイルスなど	コクサッキーA群ウイルス・エンテロウイルス71型など
一般的な症状	発熱に続いて咽頭痛が出現、口の中やのどに水疱が1週間程度続く	口の中、手のひら、足のうらなどに2～3mmの水疱性発疹出現、3～7日程度続く
発熱の程度・頻度	38～40の発熱が1～3日続く	発熱は約1/3に見られるが軽度であり、38以下がほとんど
合併症	まれに髄膜炎・急性心筋炎など	髄膜炎・脳炎など
感染経路	咳やくしゃみの吸い込みの飛沫感染、手についたウイルスが口に入ることによる接触・経口感染があります。症状がおさまった後も患者さんの便の中にはウイルスが含まれます(2～4週間)	
感染を防ぐには	流水と石けんでのこまめな手洗いが有効。トイレ後やオムツ交換の後、手洗いを心がけ、タオルの共有はさけましょう	
診断	医師の診察による、のどの所見などで診断します	
治療	抗ウイルス剤、ワクチン等の特異的な治療法がないため、対症療法が中心になります	

詳しくは東京都感染症情報センター(ヘルパンギーナ)
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/herpangina/>

詳しくは東京都感染症情報センター(手足口病)
詳しくは<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/handfootmouth/>



八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.1) 令和6年第35週



八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.3) 令和6年第35週

